

## 仲間とともに 分かち合い、今に至る

鴨下美江子さん

【神奈川県】活動歴71年

●水泳

88歳



「健康のために始めましたが、リレーのメンバーに恵まれ、仲間と喜び続け、今があります。今後は個人種目の世界記録に挑戦します」



「これからも皆さんの希望の星に」と皇后陛下からおことはをいただき、とても感激です」

幼少時から水泳と陸上競技に親しみ、52歳で水泳を再開。各種「マスターズ大会」に出場し、1996年に280歳区分短水路女子100mフリーリレーの日本記録、'98年には同区分長水路女子200mフリーリレーで世界記録を樹立。以来、世界記録を58回、日本記録を90回樹立している。

## 丈夫な体こそ 優勝の原動力

伊藤良平さん

【愛知県】活動歴74年

●ソフトテニス、剣道、軟式野球

88歳



「いろいろな競技に取り組み、各大会で優勝できたことは自慢ですが、それも丈夫な体に産んでくれた親がいたからこそ。感謝です」



「今も(ソフトテニスの)ラケットさえ持っていれば、仲間がいる。それもうれしいこと」

小学校でソフトテニス、中学校で剣道、社会人では軟式野球に熱中。特に社会人時代の野球部では、安城市軟式野球連盟主催の大会や、電力9社による「全電力対抗戦」などで活躍。46歳のころからソフトテニスも本格的に始め、「全国超壮年大会」など多数優勝を飾る。

## 心が折れそうな ときは氣力で

宮崎 昭さん

【兵庫県】活動歴67年

●剣道

89歳



「健康のバランスを心がけ、続けてこれました。体力が続かないときは心で、心が折れそうになったときは氣力で頑張ってきました」



「このような賞をまさかいただけるとは。先生、友人、職場関係者、それぞれの縁があったからこそです」

旧制中学校時代から剣道を始める。1965年「全国警察剣道大会」優勝や'78年「全日本都道府県対抗剣道優勝大会」準優勝、'86年「国民体育大会」準優勝などの実績を誇る。また「剣道演武大会」には'60年から2012年まで通算51回の出場を果たしている。

# 祝! 第11回日本スポーツグランプリ受賞

70年、80年……生涯にわたってスポーツを愛好し、今なお継続。

中高年齢層の顕著な記録や実績を残し、内外で高い評価を得る、驚くべき方々がいる。

その功績をたたえるのが『日本スポーツグランプリ』。

11回目を迎えた本年は9名が栄えある賞を受賞。「希望郷いわて国体(本大会)」初日の10月1日に開かれた「国民体育大会役員懇談会」の会場で表彰式が行われた。

……

※表彰の対象は、「①当該スポーツを長年にわたり実践」、「②当該年齢層において世界記録などを樹立」、「③当該スポーツにおいて顕著な実績を挙げる」の3つがある(オリンピック競技大会、各競技別世界選手権大会などの出場経験者は原則除く)。年齢・功績は10月1日現在。なお杉山宏さんは、表彰式は欠席されました。



## 子どもの入部で、 卓球魂、再熱

池内祥治さん

【熊本県】活動歴66年

●卓球

81歳



「子どもが中学で卓球をやりたいといい、40代半ばで私も再開。60代半ばから大会に出始め、負けたくない思いで練習を積んできました」



「今、仲間と話すのは、勝ち負けより、何年元気で全国で競えるか。それが本当の勝負です」

15歳で卓球を始め、学生時代は「国民体育大会」などで活躍。40歳のころからクラブチームに所属し、還暦後才能が開花。1994年「全九州選手権大会・シックスティの部」優勝、2012年「全日本選手権大会・ハイセブンティの部」優勝、'14年「全国ラージボール大会80代の部」準優勝。

## 試合が終われば 心はもう次の大会へ

林 崇さん

【高知県】活動歴68年

●水泳

83歳



「マスターズ大会が終わると、次の大会へ心が向く。それが心の励みとなり、来年も頑張ろうという気持ちで生活していける。関係者の皆さんに感謝です」



「妻と二人三脚で55年。7割は妻の力、あらためて感謝します。夢にも思わぬ賞、大感激です」

高校時代から水泳を始め、社会人時代は母校で練習し、27歳までに通算6回「国民体育大会」に出場。全国各地の「マスターズ大会」の短水路50m・100m・200mバタフライの3種目を中心に日本記録38回(うち10回は世界記録)を樹立し、現在は75歳区分短水路200mバタフライで世界記録を保持。

## 複数競技を楽しみ、 そしてここまで

大谷俊男さん

【群馬県】活動歴72年

●器械体操、軟式野球、陸上競技、水泳

84歳



「陸上競技の走りが野球に活きる、持久力は水泳に活きる。複数競技の相乗効果と、たくさんの仲間、それがここまで来られた理由です」



「中学の教員時代、トップ記録を出した教え子もいますが、自身が賞をもらうのは初めて。心から感激です」

小学生時から複数競技に取り組み、軟式野球では2004年「関東古希大会」で首位打者賞を獲得し、準優勝。社会人時代から始めた陸上競技では、1963年「群馬県選手権大会」十種競技、「アジアベテランズ選手権大会」走幅跳(第5回)、110mハードル(第7回)優勝など、内外で活躍。

## 戦後まもなく 走り始め、70年

亀濱敏夫さん

【沖縄県】活動歴71年

●陸上競技、ソフトテニス

90歳



「1948年9月10日、青年団運動会で走り始め、それがここまで続き、この賞に結びつきました。世界記録達成も関係者の皆さんのおかげです」



「このような賞をいただき、天皇后両陛下にお会いでき、二重の喜びです」

20歳からジョギングに親しみ、60歳時に家族の勧めでソフトテニスを始めると、ソフトテニスで陸上競技で活かされることに気づき、80歳で「沖縄マスターズ陸上」初出場。2015年「全日本マスターズ陸上(M90クラス)」では複数種目で世界記録を樹立し、現在も保持。

## 結婚して、 以来ずっと2人で

深澤恭子さん

【長野県】活動歴81年

●ソフトテニス

92歳



「結婚して以来休日はいつも主人とコートに立っていました。勝てばうれしく、負ければ悔しい。どちらでも、次頑張ろうと」



「周囲の理解にも助けていただきました。このままずっとテニスをやる気が、今しています」

小学校時代からソフトテニスを始め、競技歴は80年超。社会人時代は学生に指導する傍ら、自身は「第6回国民体育大会(1951年)」で優勝。シニア入り後、2002年から「全日本シニア選手権」を4連覇し、'06年度にはシニア女子75歳で全日本ランキング1位を獲得。

## 大好きだから とことん打ち込める

杉山 宏さん

【山口県】活動歴76年

●弓道

93歳



「とことん打ち込め、夢も持てる。弓道は私にとってそんな存在です。的を外しても責任はすべて自分にある。原因を究明するのもまた楽しい」



「いろいろな人に出会って、お互いに助け合うことが大切。この賞がいただけたのも皆さんのおかげです」

16歳で弓道を始め、麻弦が手に入らなかった戦後は針金で代用して弓を引き続ける。63歳時に「第28回全国郵政武道大会」で優勝(個人・団体)。67歳で録士号、79歳で六段を取得。2015年「わんりんピック」に92歳で出場し、最高齢者賞を受賞している。

写真/受賞者提供、松橋隆樹